

男女共同参画 ともに生きる諏訪市民大会 開催

10月4日(土) 市働く婦人の家

講師に日本経済新聞社編集委員の鹿嶋敬先生をお招きし、「ともに生きる諏訪市民大会」が開催されました。「いきいき働く」と題した講演では、女性の働き方の特徴や、男女共同参画型への就労環境の整備の大切さについてお話いただきました。また、講演に続く対談では、鹿嶋先生を交えて、馬場よし子さん(女性相談員 前長野県男女共同参画センター館長)、藤森豊子さん(飯田郵便局保険課長)、伊東道雄さん(男女共同参画市民協議会会長)に、男女がともに働きやすい環境について語り合っていました。(詳しい内容は次号に掲載します。)

男女共同参画にまつわる川柳 入選作品

大会に併せて「男女共同参画にまつわる川柳」を募集したところ、59点の応募があり、選考の結果、以下の作品が入選作品に選ばれました。ご協力ありがとうございました。

- | | | |
|------|---------------------|---------|
| 最優秀賞 | すわお客 亭主の前掛け むしりとり | 茅野 和さん |
| 優秀賞 | 父兄会 されどいるのは 母ばかり | 鴨志田明子さん |
| | おーい!めし できたと夫 妻をよび | 牛山計子さん |
| | 妻の留守 もの干し台で 隠れ干し | 小林絹恵さん |
| 佳作 | この地球 女と男の ヤジロベ | 松沢つね子さん |
| | 良く来たと 祖父が枝豆 ゆで上げる | 木川俊文さん |
| | 「いってらっしゃい」 育休中の夫が言い | 神澤國子さん |
| | ばあさんや 今日の夕めし 俺がする | 山岡みきさん |
| | 桃太郎 爺さんも川へ 洗濯へ | 小林弓馬さん |



ご相談ください

～女性のための相談窓口～

家族のこと、夫婦のこと、子どものこと、職場や地域での人間関係、夫や恋人(パートナー)からの暴力など……生活の中でのいろいろな悩みや、困りごとを抱えている方。ひとりで悩まずに、まずはお電話ください。一緒に解決の糸口を探しましょう。

- 日時 毎月第4金曜日 午後12時30分～5時30分
(10月24日 11月28日 12月26日
1月23日 2月27日 3月26日)
- 相談員 専門の女性カウンセラーがお話を伺います。
- 相談は無料です。(予約制)
- 相談の結果、必要な場合は弁護士相談や、関係相談機関との連携をはかります。
- 申し込み 諏訪市役所男女共同参画推進室へ電話でお申し込みください。
TEL 0266-52-4141 内線 452

編集後記

深まりゆく秋の中、シャンソンに耳を傾ける。演歌とは違う心地良いムード。歌詞の内容がまるで違う。演歌は女性が耐え忍び、何となく時雨みたいに重くて暗い。一方シャンソンは秋空のように抜ける明るさがある。

これって国民性の違いだろうけれど、ジェンダーの視点で見れば、私はやっぱり“シャンソンの的に生きたいな”と思わずひとり言。皆さんは?



まだ話せない赤ちゃんからのメッセージ
……お父さん聞こえていますか……

お父さんのための赤ちゃん講座

市保健センターで年6回開催している「お父さんのための赤ちゃん講座」。9月16日は、出産を控えた10組のカップルが熱心に受講しました。ビデオを鑑賞後、臨月の妊婦の身体状態を擬似体験。ベルトや、重しの入ったベストを着用した男性からは「これは大変な重労働。もう少し妻を手伝ってやらなければ……」との感想が。本物そっくりの赤ちゃん人形を使っての沐浴体験では、慣れない手つきで恥じらいながらも、お父さん達は奮闘していました。

ビデオの中、父親の声に喜びの反応を示す生後2週間の赤ちゃんのお父さんは、お母さんのお腹にいる時から毎日赤ちゃんに話しかけていました。また母親には「安心感」を、父親には「新鮮な刺激」を求めている赤ちゃんに、お父さん達も父親の役割、責任の重さを感じたようです。これから共に協力して、子育てをしていくことへの喜びと、自信に満ちた参加者の表情が印象的でした。

主な内容

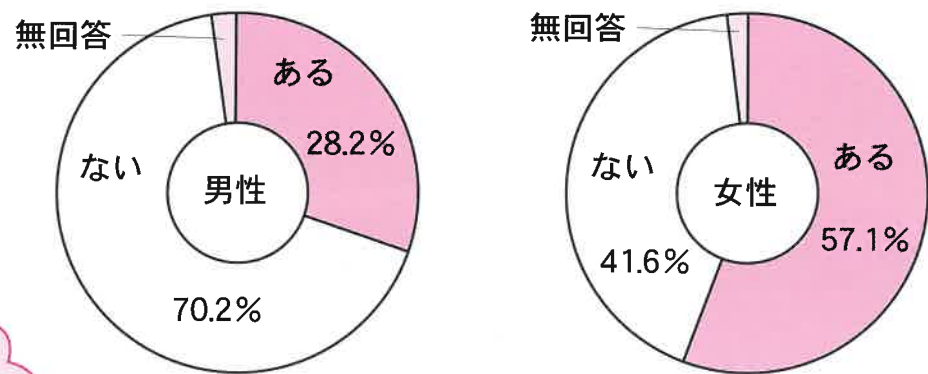
- 2・3面 こんなことはありませんか?
あなたのまわりで
-ジェンダーへの気づき-
- 4面 ともに生きる諏訪市民大会
女性のための相談

こんなことありませんか？ あなたのまわりで

ジェンダーへの気づき

男女共同参画市民協議会では、今年3月に、岡谷市民総合体育館で開催された「諏訪ルネッサンス みんな集まれ！ すわ未来21」の来場者を対象に、男女共同参画についてのアンケートを実施しました。その結果、「性別による差別を受けたり、不快な思いをしたことがある」と回答した人がグラフのようになりました。みなさんは、この結果をどう思いますか？

「日常生活（家庭・地域・職場・学校）の中で、『男だから』『女だから』ということで差別を受けたり、不快な思いをしたことがありますか。」



職場では

仕事は忙しいけど家族との時間や趣味の時間もバッチリ確保。毎日が充実しているよ。

〇〇ちゃんおねがい

やっと一人前に仕事をまかされるようになって、うれしい。頑張らずっと仕事を続けていこうと思っているわ。

毎日お茶くみやコピーなどの雑用ばかり。そのうえ上司がHなことをいったり、「結婚はまだか」なんて聞いてきたりするし。

仕事、仕事で毎日残業。休日も出勤。これじゃあ、自分の時間が持てないよ。

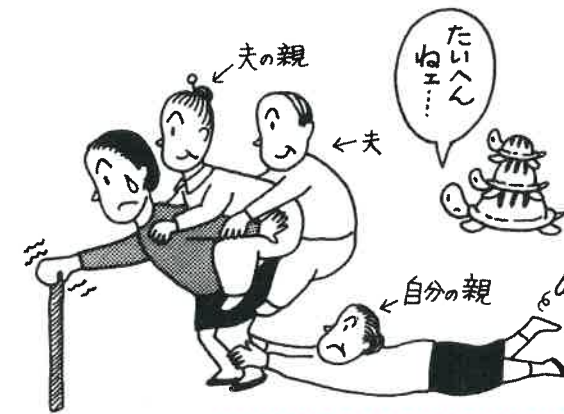
来場者の声

- 子育てをしながら仕事していますが、夫に家にいてもらいたいと思うことがたくさんあります。〈20代女性〉
- 女性も男性も働きやすい職場をつくってほしい。〈20代男性〉
- 「男は外で働く」という考え方は、逆差別のように感じる。〈40代男性〉

来場者の声

- 今の時代、男の人が子どもを育てたり、女の人が仕事をするのをテレビで見たりしますが、僕は、あまり「男だから、女だから」などとは考えていません。〈10代男性〉
- 女性は「良妻賢母」と言われた時代は、もう古いですね。〈70代女性〉

妻の老後は高齢者介護の日々？！



家庭・地域では

来場者の声

- 自分も親の介護をしたいが、世間の目が気になる。〈50代男性〉
- 嫁の立場の人を、もっと人間として扱って欲しいと思います。〈60代女性〉

これも理解ある夫？！

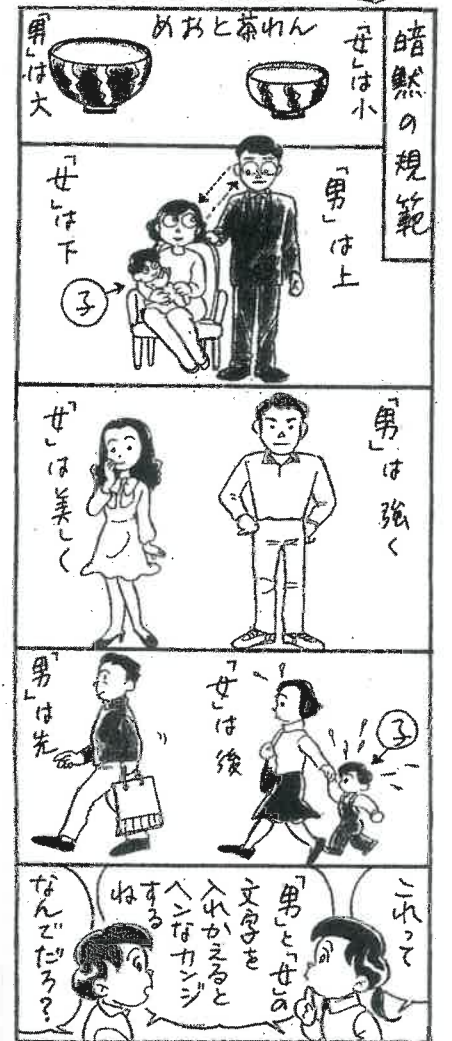


※ジェンダーとは

「女らしさ、男らしさ」や「女、男はこうあるべきだ」といった歴史的、社会的、文化的に人々の意識のなかで形成された性別。生物学的な性別（セックス）と区別して用いられます。

おとなな日々

段 丹 映 子



「週刊長野」より転載

来場者の声

- 女性が区の役員になるには、家族の理解がとても大切だと思います。〈30代女性〉
- 男女共同参画の推進は時間のかかる運動です。根気よく続けることが必要。身近なことは、まず家庭、次に地域。もっと地域の議会議員などに女性が増えることが必要。〈70代男性〉